

2017 年度日本福祉文化学会関東ブロック研究交流会

「事例を通して人権問題を考える part2

～学校教育の現場を中心に～」

話題提供者：鈴木 利子氏（元小学校教師）

牛久市教育委員会放課後対策課社会教育指導員

：前嶋 元氏（スクールカウンセラー）

東京立正短期大学講師

：島田 治子氏（目白大学教授）



日時:2017年 11月 11日(土)13:30～16:30

場所:立教大学池袋校舎 16号館 第1会議室

参加費:500円(資料、茶菓代) 事前予約不要

前回のセミナーでは、障害当事者・支援者から問題提起がなされ、研究者から諸外国の障害者施設の歴史・近代的成り立ち、差別と人権侵害（虐待など）は表裏一体であることがレクチャーされ、その中でも、隣人を「排除せず」「差別せず」「共に」生きることがあらためて強調されました。今回は学校教育の現場を中心に、人権問題を考えてみたいと思います。

子どもたちはどこで他者との違いを認め、尊重したり、人権に関する学びをするのでしょうか。また、教師の過重労働や人権は果たして守られているのでしょうか。現場教師のとりくみの事例や学校カウンセラーの立場から問題提起をしていただき、その後、参加者と意見交換を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ・連絡先： 関東ブロック長 梅津迪子 090-1796-2875